

全国福祉高等学校長会主催
令和5年度 社会福祉・介護福祉検定

1 級 問 題（ 後 半 ）
（ 1 1 0 分 ）

◎ 指示があるまで開かないでください。

注 意 事 項

- 1 解答用紙への受検番号等の記入
解答用紙に、受検番号、学校名、クラス、氏名を記入してください。
- 2 試験問題
問題数は62問です。解答時間は110分です。
- 3 解答方法
 - (1) 各問題について、解答欄に番号「1・2・3・4・5」のいずれかを記入してください。
 - (2) 一度解答したところを訂正する場合は、消しゴムで消し残りのないよう完全に消してください。
- 4 その他の注意事項
 - (1) 印刷不良やページが抜けている場合は、手を挙げて試験監督の先生に申し出てください。
 - (2) 問題の内容についての質問には、一切お答えできません。

介護の基本

問題64 利用者主体の考えに基づいた介護福祉職の対応に関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 離れていても見守りができるように、トイレのドアを開けたままにする。
- 2 「どうするか悩んでしまう利用者には、介護福祉職が考えを決めておく。
- 3 収集癖のある利用者には、異食防止のため集めているものを利用者の許可なく処分する。
- 4 食事に時間を要する利用者には、下膳時刻に間に合わせるため全介助で支援する。
- 5 移動に車いすを利用している利用者には、行き先などを自分で決められるような声掛けをする。

問題65 社会福祉士及び介護福祉士法に規定されている介護福祉士の義務規定として、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 「信用失墜行為の禁止」とは、常に利用者の立場に立って誠実に業務を行う義務である。
- 2 「秘密保持義務」とは、介護福祉士の信用を傷つけるような行為をしてはならないという義務である。
- 3 「連携」とは、福祉サービス等が総合的かつ適切に提供されるよう、福祉サービス関係者等との連携を保つ義務である。
- 4 「資質向上の義務」とは、介護等に関する知識及び技能の向上に努める義務である。
- 5 「誠実義務」とは、その業務に関して知り得た人の秘密を漏らしてはならない義務である。

問題66 特別養護老人ホームにおけるプライバシーの保護として最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 ユニット型施設では、食事以外は各居室で生活してもらった。
- 2 新しい入居者の情報は、机の上に広げていつでも閲覧できるようにした。
- 3 ベッド上での排泄介助のために訪室をした際、屋外からは見えないが、窓のカーテンを閉めた。
- 4 トイレへの誘導の際に、聞こえやすいよう大きな声で「トイレに行きましょう。」と利用者へ伝えた。
- 5 入浴前の脱衣所で、順番がすぐに来るため裸で待ってもらった。

問題67 利用者の「強さ・強み」を意味する用語として最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 エンパワメント(empowerment)
- 2 ノーマライゼーション(normalization)
- 3 インフォームド コンセント(informed consent)
- 4 バーセルインデックス(Barthel Index)
- 5 ストレngth(strength)

問題68 ICF (International Classification of Functioning, Disability and Health : 国際生活機能分類)における参加を表す記述として、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 食事には自助具を使用している。
- 2 社交的な性格である。
- 3 車いすで自走している。
- 4 職員と交流している。
- 5 四肢麻痺である。

問題69 介護を必要とする人の理解に関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 介護を必要とする人たちがかかえている生活のしづらさは一時的なものである。
- 2 自分らしさとは、ポジティブな側面とネガティブな側面、両面を含むものである。
- 3 その人らしさと自分らしさは同じ意味で使われる。
- 4 社会福祉法では、介護福祉士の業務のうち、介護者の支援について明記されている。
- 5 地域包括ケアでは、支え手側と受け手側に分かれてケアを行うことが重要である。

問題70 福祉サービスに関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 介護サービスが必要な場合、施設入所を基本として検討するとよい。
- 2 フォーマルサービスとは、制度化されていないサービスのことである。
- 3 インフォーマルサービスとは、法制度にもとづき専門的な視点から提供されるサービスのことである。
- 4 介護保険サービスにおける施設サービスは、介護老人福祉施設、介護療養型医療施設、介護医療院の3つである。
- 5 入所施設サービスは、日中活動と夜間の生活支援の組み合わせが選択できる。

問題71 多職種協働にかかわる専門職に関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 社会福祉士は、権利擁護や自立支援のための相談・助言・指導を行う。
- 2 介護支援専門員になるには、保健医療福祉分野での実務経験5年が必要である。
- 3 医師は、医療及び保健指導を掌ることによって公衆衛生の向上及び増進に寄与し、もって国民の健康な生活を確保する者と定義されている。
- 4 作業療法士は、認知機能や運動機能に障害がある人を対象に、日常生活における動作の改善・維持を支援する。
- 5 理学療法士は、身体機能が低下している人や低下気味の人に、身体機能の回復や維持ができるようにサポートを行う。

問題72 感染症法における感染症のうち、2類感染症として正しいものを1つ選びなさい。

- 1 A型肝炎
- 2 コレラ
- 3 結核
- 4 エボラ出血熱
- 5 メチシリン耐性黄色ブドウ球菌

問題73 労働者の健康や生活を守る法制度に関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 労働者に、休憩時間を除き、1週間40時間以上を超えて労働させてはならない。
- 2 使用者は、労働者に対して、毎週少なくとも2回の休日を与えなければならない。
- 3 ストレスチェック制度は、事業場の人数に関わらず行わなければならない。
- 4 出産前は4週間、出産後は6週間休業を取ることができる。
- 5 子どもが3歳になるまで、育児休業をとることができる。

コミュニケーション技術

問題74 「逆転移」に該当する事例として最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 A職員はB職員からの物理的距離が近いため、「ちょっと近すぎる」と警戒感を持っている。
- 2 C職員は、子供の時に親から十分にかまってもらえなかった。その寂しかった経験から、利用者Dさんとの関わりが過度になっている。
- 3 E職員は、利用者Fさんとの信頼関係が形成できている。
- 4 利用者Gさんは、最初はH職員を毛嫌いしていたが、今では良好な関係だと感じている。
- 5 利用者Iさんは、職員Jの事を好んで、よく自分から話しかける。

問題75 「事実を共有した上で、それでもなお、発想が偏っている場合に有用な技術」について、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 リフレーミング
- 2 NLP
- 3 コントロール
- 4 思い込み
- 5 バーンアウト

問題76 「相手の側に立って、相手を感じている感情をその人自身になったつもりで、あたかも自分が感じているかのように感じること」、この記述に該当するものを1つ選びなさい。

- 1 受容
- 2 傾聴
- 3 オウム返し
- 4 同情
- 5 共感

問題77 「コミュニケーションのアセスメント」について最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 難聴のある人は、わかったふりをして、その場をしのごうとする行動特性がある。
- 2 視覚については、文字が見えているかの確認は必要がない。
- 3 半側空間無視は、疾患の症状なので、アセスメントをする必要性はない。
- 4 言語理解については、こちらの言っていることが理解できているかを口頭のみでチェックする。
- 5 構音については、日常生活における発声を確認すれば良い。

問題78 利用者Aさんの家族から「最近介護疲れがある」という相談があった。この相談に対する返答として最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 「私たちも疲れているんですよ」
- 2 「Aさんに直接話してみたいはいかがですか」
- 3 「家族の中で話し合ってみてください」
- 4 「そうなんですね。介護疲れを感じてらっしゃるんですね」
- 5 「しっかりしてください。Aさんには家族さんしか頼れる人はいないんですよ」

問題79 「記録の方法と書き方」について最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 職員の中だけで共有するものなので、専門用語を用いて書くようにする。
- 2 食べ方がいつもと変わらないので、食事の分量はいつもと変わらないとだけ表記した。
- 3 忙しかったので、誤字を修正する際、間違えた文字に二本線を引いただけにした。
- 4 判断した言葉を書くのではなく、その言葉を表そうとした事実を具体的に書いた。
- 5 1つの事柄に焦点を当てるフォーカスチャータリングは使用しない。

生活支援技術

問題80 調理師だったMさん（84歳、女性、要介護3）がグループホームに入所して2週間が経過した。生活には慣れてきているが、テレビを見て過ごす時間が長く、他者との関わりが少ない。ある時、Mさんが「みんなに自分の作った料理を振る舞いたい」と介護福祉職に話した。Mさんのレクリエーション活動の計画作成にあたり、介護福祉職が留意すべきこととして最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 怪我をしないよう、Mさんの指示のもと、作業はすべて介護福祉職が行うことにする。
- 2 料理中に混乱しないよう、メニューは介護福祉職が選ぶことにする。
- 3 他の利用者にも料理に参加してもらおうが、これまでの関わりが少なかったことから、Mさんの負担にならないようMさんとの会話は避けてもらう。
- 4 料理の手順については、Mさんと話し合ってから決める。
- 5 Mさんの自尊心を傷つけないため、すべてMさんに任せる。

問題81 認知症の人のケアの基本概念、パーソン・センタード・ケアについて、次の中から最も関係がある人物を1人選びなさい。

- 1 トム・キットウッド(Kitwood, T.)
- 2 アブラハム・マズロー(Maslow, A. H.)
- 3 メアリー・リッチモンド(Mary Richmond)
- 4 糸賀 一雄
- 5 エリザベス・キューブラー＝ロス(Elisabeth Kübler-Ross)

問題82 高齢者にとって快適な室内環境について、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 室内の温度調節は、日光や自然な風などを利用すると不安定になるため、各種設備機器のみで行えるよう工夫する。
- 2 浴室から出るときは体温が高くなるため、脱衣所は冷房をつけるなどして室温をできるだけ下げる。
- 3 補聴器を使う方の場合には、絨毯などを敷かず、残響音の多い環境をつくる。
- 4 光源の光とその反射光が直接目に入らないよう、家具を配置する。
- 5 トイレは、臭いが外に出るのを防ぐため換気はしない。

問題83 災害に対する備えとして最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 避難時に持ち出す物品は、大きめのリュック等にまとめておく。
- 2 家具は転倒・移動を防ぐために、できるだけ建物本体に固定する。
- 3 重い物は上方に収納する。
- 4 落下の危険がある物は、ベランダ等に置く。
- 5 戸棚の中の食器等が飛び出さないよう、戸棚のガラス扉にはガラス飛散防止フィルムを張る。

問題84 生活支援におけるチームアプローチを行ううえでの留意点として最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 専門職主体で生活支援を進める。
- 2 利用者の情報は個人情報であるため、チーム内での情報共有はさける。
- 3 チームを構成するそれぞれの職種の専門性を互いに理解する。
- 4 介護福祉職は利用者との関わりが少ないため、他の専門職からの情報に頼る。
- 5 けがや事故を未然に防ぐために、介護場面で発生した問題は1人で解決する。

問題85 杖歩行の介護として、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 杖の握り部分を、利用者のウエストの高さに合わせる。
- 2 2動作歩行では、杖・健側、患側の順で歩行する。
- 3 障害物を越える場合は、杖、患側、健側の順で歩行する。
- 4 階段を下りるときは、介護者は患側後方に立つ。
- 5 階段を上るときは、杖、患側、健側の順で歩行する。

問題86 車いすの移乗・移動の介護に関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 ベッドから車いすへ移乗する際は、利用者の患側に車いすを置く。
- 2 スライディングボードを使用してベッドから車いすへ移乗する際は、ベッドの高さより車いすの座面を少し高くする。
- 3 車いすの停止中は、すぐに発進できるようブレーキを解除したままにする。
- 4 急な上り坂は、後ろ向きで進む。
- 5 砂利道は、キャストを上げて進む。

問題87 片麻痺がある利用者の着脱介護に関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 介助者が着脱の介助がしやすいようにかぶり式の上着を勧める。
- 2 着衣に時間がかかってしまう場合は、全介助によって介護を行う。
- 3 上着を脱ぐときは、健側から脱ぐ。
- 4 ズボンを穿くときは、健側から穿く。
- 5 前開きの上着のボタンをすべてとめるようにする。

問題88 口腔ケアに関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 ブラッシングをする際、歯ブラシを大きく力強く動かしてみがく。
- 2 舌の清拭は、手前から奥に向かって行う。
- 3 ベッド上で口腔ケアを実施する場合、仰臥位で行う。
- 4 総義歯を取り外す際は、下顎から先に外す。
- 5 総義歯を洗うときは、歯みがき剤を使用する。

問題89 整容の介護に関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 巻き爪を防ぐために、バイアス切りで爪切りを行う。
- 2 目の周囲を清拭するときは、目尻から目頭に向かって拭く。
- 3 中耳より奥にある耳垢は、ピンセットを使用して除去する。
- 4 蒸しタオルでひげを柔らかくしてから、電気かみそりをヒゲの流れに逆らって剃る。
- 5 加齢に伴い分泌される皮脂が不足するので、頭皮の乾燥を防ぐためにブラッシングや洗髪の回数を減らす。

問題90 食事の介護に関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 食事の温度は、体温と同程度が嚥下しやすい。
- 2 介助する時は、介護者のペースで行うとよい。
- 3 利用者が咀嚼している際中に声かけを行うことで、誤嚥を予防することができる。
- 4 腸の蠕動運動の低下に対しては、食物繊維の多い食品を取り入れるとよい。
- 5 食後はすぐに横になり休むことで、逆流性食道炎が予防できる。

問題91 座位での食事姿勢に関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 肘や膝は120度程度が望ましい。
- 2 テーブルの高さは、食事が見えやすいように顔の近くがよい。
- 3 足底が床についている。
- 4 身体とテーブルは握りこぶし3個分程度がよい。
- 5 背筋を伸ばしやすくするために、椅子に浅く腰かける。

問題92 摂食・嚥下の流れに関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 先行期 ⇒ 準備期 ⇒ 口腔期 ⇒ 咽頭期 ⇒ 食道期
- 2 先行期 ⇒ 準備期 ⇒ 咽頭期 ⇒ 口腔期 ⇒ 食道期
- 3 準備期 ⇒ 先行期 ⇒ 口腔期 ⇒ 咽頭期 ⇒ 食道期
- 4 準備期 ⇒ 先行期 ⇒ 咽頭期 ⇒ 口腔期 ⇒ 食道期
- 5 準備期 ⇒ 先行期 ⇒ 口腔期 ⇒ 食道期 ⇒ 咽頭期

問題93 入浴の介護に関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 湯温は42℃以上が望ましい。
- 2 入浴前に排泄をすませておくとよい。
- 3 ヒートショックを予防するために浴室と脱衣室との温度差を大きくする。
- 4 心臓から近い部分から湯をかけると負担が少ない。
- 5 浴槽には長く入るほどリラックス効果も高くなる。

問題94 清潔保持に関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 手浴や足浴は安眠を促す効果がある。
- 2 電動カミソリは皮膚に対して、45度に当てる。
- 3 清拭は、中枢から末梢へ向かい拭く。
- 4 視覚障害のある人の洗髪は、ドライシャンプーを使用する。
- 5 褥瘡がある場合は、介護福祉職の判断で入浴の可否や入浴方法を決定する。

問題95 排泄方法に関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 トイレでの排泄が難しい場合は、尿器・便器を使用する。
- 2 便意・尿意が感じられない場合は、ストーマを装着する。
- 3 座位保持が可能であれば、ポータブルトイレを使用できる。
- 4 見当識障害により、失禁する場合はおむつを活用する。
- 5 変形性膝関節症があっても、筋力向上のために和式便器を利用する。

問題96 便秘を予防するための方法として、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 水分よりも食物繊維の摂取量を増やす。
- 2 便秘予防薬などを服用する。
- 3 介護福祉職の判断でトイレに座らせる。
- 4 適度な運動を行う。
- 5 排便の習慣がつかないようにトイレ誘導を行う。

問題97 消費者保護に関する記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 通信販売による契約のクーリング・オフ期間は8日間である。
- 2 キャッチセールスなどを含む訪問販売による契約は、クーリング・オフ期間は8日間である。
- 3 クーリング・オフ期間であっても、電磁的記録による契約解除は行えない。
- 4 消費者相談や苦情処理などは、地域包括支援センターで行っている。
- 5 製造物責任法（PL法）では、販売者が損害賠償の責任を負うとしている。

問題98 衣服の保管に関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 ナフタレンは、揮散が速く、効き目が早い。
- 2 パラジクロルベンゼンは、効き目がゆっくりと持続するので、ひな人形などの防虫にも適している。
- 3 しょうのうは、すべての衣類に使用でき、他の薬剤とも併用が可能である。
- 4 防虫剤は、有臭の物が多いので、換気しやすいところで使用する。
- 5 ピレスロイド系の防虫剤は、洋服タンス・衣装ケースに適しており、他の薬剤とも併用が可能である。

問題99 休息と睡眠について、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 休息がとれない状況が続くと、心身の疲労感や緊張感が蓄積する。
- 2 休息すると、意欲が低下し活動量が低下する。
- 3 睡眠は、周囲の環境への反応や感覚刺激に対して過敏になる現象である。
- 4 睡眠中は、大脳皮質だけでなく脳幹の機能も休息する。
- 5 睡眠中の脳は、レム睡眠からノンレム睡眠へと変わり、目が覚めるまで続く。

問題100 安眠に関する記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 アルコールを飲むと、入眠が促進され、朝までぐっすり眠れる。
- 2 疲れると眠れなくなってしまうので、日中の運動は控える。
- 3 リラックス効果を促進するため、42度以上のお湯で入浴する。
- 4 朝、日光を浴びることで、体内時計が整えられる。
- 5 コーヒーや緑茶を飲むと、目覚めがすっきりする。

問題101 終末期の支援に関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 もしものときのために、みずからが望む人生の最終段階における医療・ケアについて、前もって考え、医療・ケアチーム等と繰り返し話し合い、共有する取り組みをアドバンス・ケア・プランニングという。
- 2 意思決定能力を失った人の家族が、医療行為に関する意向をまとめたものをアドバンス・ディレクティブという。
- 3 死に際して、介護に関する介護福祉職への指示を文書で示したものをリビングウィルという。
- 4 蘇生の可能性がもともと低い、できる限り蘇生を試みて欲しいという意思表示をDNAR指示という。
- 5 人生の最終段階における介護福祉職によるケアをグリーフケアという。

問題102 全人的苦痛に関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 病者が経験する苦痛は、その人の存在全てに関わるものである。
- 2 キューブラー・ロスによって提唱された。
- 3 身体的、社会的、精神的、経済的の4つの要素がある。
- 4 人生の意味への問いや死への恐怖、死生観に対する悩みは精神的苦痛である。
- 5 全人的苦痛を理解し、利用者のみのQOLを高める支援が必要である。

問題103 死後のケアに関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 死後のケアは、死後硬直後に行うとよい。
- 2 利用者が死亡した場合、その場に立ち会った看護師や介護福祉士が死亡診断書を作成する。
- 3 着物の場合は、右前に合わせて、紐は縦結びにする。
- 4 死後のケアは、その名の通り、ダイニングケアという。
- 5 遺体を清めるためのぬるま湯であるさかさ水は、水に湯を注いで作る。

問題104 Aさん（86歳、女性、要介護3）は、アパートの1階で一人暮らしをしている。最近、軽い認知症状が認められるようになった。立ち上がりや歩行が不安定だが、家の中では昼夜を問わず、手すりを用いて行き来することに困難はない。現在は畳の上に布団を敷いて寝ているが、立ち上がりに時間がかかり、トイレまで間に合わないことが増えてきた。Aさんにこれから必要だと考えられる福祉用具として適切なものを1つ選びなさい。

- 1 認知症老人徘徊感知機器
- 2 特殊寝台
- 3 車いす
- 4 おむつ
- 5 ポータブルトイレ

問題105 介護ロボットの活用に関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 認知症の利用者のためのコミュニケーションロボットは人形に分類されるので、介護ロボットには含まれない。
- 2 装着型アシストスーツは、利用者の身体に装着し、利用者のスムーズな動きをサポートする。
- 3 介護ロボットの活用は施設で働く介護従事者の負担軽減を目指したもので、介護する家族はその対象に含まれていない。
- 4 介護ロボットは、地域包括ケアの実現においても、普及・活用されることが期待されている。
- 5 介護ロボットは、労働基準監督署が主導してその開発を進めている。

介護過程

問題106 介護過程に関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 介護過程では、利用者のできないところを明らかにして自立を支援する。
- 2 介護計画を立案することが、介護過程の最終目的である。
- 3 介護福祉職の介護目標を明らかにできる。
- 4 個別ケアの必要性はなく、業務をマニュアル化し統一した介護を実践する。
- 5 介護過程とは、利用者の自己実現を達成するための思考過程である。

問題107 アセスメントに関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 意図的な情報収集は、介護福祉職の先入観の影響を受けるので避ける。
- 2 実践したい支援に沿った情報のみを集めるとよい。
- 3 情報を解釈するときには専門的な知識や経験を活用する。
- 4 支援内容を説明して同意を得る。
- 5 介護過程では、健康状態に着目して課題を明確化することが最も重要である。

問題108 目標に関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 短期目標は、介護福祉職が達成する行動目標にする。
- 2 利用者によりよい介護を提供するため、個別性に配慮した目標設定にする。
- 3 長期目標は、実現できるものより理想を目指すもののほうがよりよい介護につながる。
- 4 目標はアセスメントの際に評価しやすいものがよい。
- 5 目標の達成状況や適切性の評価を可能にするため、目標を達成するまでの期間設定は必要ない。

問題109 チームアプローチに関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 施設入所者に対して、複数の介護福祉職が介護を行うことである。
- 2 チームアプローチの中心は介護福祉職であり、家族やボランティアは、チームの一員になれない。
- 3 それぞれの課題解決に対応できる関係者によりチームを編成するため、人数が決まっている。
- 4 多職種連携は、利用者の生活課題の解決に近づくことができるが義務付けられているわけではない。
- 5 専門職の間で目的などの情報を共有し、それぞれの専門性を発揮することが重要である。

問題110 記録・評価に関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 介護福祉職が判断したことは記録しない。
- 2 他職種とのかかわりも記録する。
- 3 ボールペンで記録し、訂正は修正液でよい。
- 4 利用者や家族の反応は評価の対象に含まれない。
- 5 評価の責任者は、介護支援専門員である。

問題111 介護計画に関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 利用者の正しい理解を促すために専門用語を用いる。
- 2 計画の立案にあたっては、家族の意向を優先する。
- 3 介護計画の援助内容は評価日まで変更しない。
- 4 介護計画は支援者全員が理解でき実施できるように、実施方法を具体的に記載する。
- 5 実施内容について、介護福祉職が納得したものであれば、利用者に同意を得る必要はない。

次の事例を読んで、**問題112**から**問題113**を答えなさい。

【事例】

Aさん（79歳、女性）は、脳梗塞による右片麻痺でわずかに失語症の症状があり、要介護2の認定を受けている。現在は娘からの介護を受け2人暮らしをしているが、娘が体調を崩し医師から療養が必要と言われた。Aさんは自宅での生活を希望しており、介護保険制度の介護サービスを受けることとなった。そこで介護支援専門員は、訪問介護と通所介護を利用することを提案し、在宅生活を継続するケアプラン原案を作成した。

問題112 Aさんのサービス担当者会議に関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 訪問介護員が主催する。
- 2 構成員は、介護支援専門員、訪問介護事業所担当者、訪問看護事業所担当者である。
- 3 Aさんの生活について検討する場なので、娘の療養については話題にしない。
- 4 サービス担当者会議では、Aさんの今後について、施設入所するのか在宅生活を継続するのかを決める。
- 5 サービス担当者会議には、Aさんと娘も参加する。

問題113 サービス担当者会議を経てAさんの訪問介護と通所介護の利用が決まった。訪問介護計画と通所介護計画の作成に関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 訪問介護計画は、ケアプランと同じものである。
- 2 訪問介護計画を作成するときは、同居している娘の希望を最優先する。
- 3 娘の介護力を考慮して訪問介護の支援内容を決める。
- 4 通所介護計画は、集団ケアの計画を作成し、集団で行う。
- 5 通所介護計画は、訪問介護計画にもとづいて作成する。

総合問題

次の事例を読んで、**問題114**から**問題116**を答えなさい。

【事例】

Mさん（89歳、男性）は、末期の肺がんを患っている。本人や家族の希望から、自宅で終末期を過ごしたいとの希望があり、現在は在宅で訪問介護や訪問看護のサービスを活用している。

問題114 「終末期の介護における留意点」に関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 苦痛の緩和は、訪問看護師に任せる。
- 2 利用者の心の安らぎをもたらすため、常にクラシック音楽を流す。
- 3 死への恐怖を少しずつ受け入れていけるよう、訪問介護員が話し続ける。
- 4 家族がパニックを起こすといけないので、極力関わらせないようにする。
- 5 食べたい時間に食べたい物を食べたい量だけ提供するなど、本人の意向を尊重する。

問題115 「臨終時の介護」に関する次の記述のうち、訪問介護員が行ったケアとして最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 本人は嫌がっているが、身体的な苦痛を取り除くために側臥位にした。
- 2 意識や反応がなくなっているので、声かけはせず介護を行った。
- 3 口腔が乾燥していたので、湿ったガーゼを当てた。
- 4 面会の際、本人の顔がはっきりと見えるように室内の明るさを750ルクスにした。
- 5 本人は望んでいたが、痛みがあるので、清方を家族が行うことは避けてもらった。

問題116 訪問介護員たちは、Mさんが亡くなった後、今後の介護の質の向上を図ることを目的に支援の振り返りを行った。このことに関係がある項目を以下の選択肢から1つ選びなさい。

- 1 ケアカンファレンス
- 2 デスカンファレンス
- 3 グリーフケア
- 4 コンセンサス・ベースド・アプローチ
- 5 アドバンス・ケア・プランニング

次の事例を読んで、**問題117**から**問題119**を答えなさい。

【事例】

Aさん（45歳、女性）は、ダウン症候群と軽度の知的障害があり、就労継続支援B型事業所で就労している。Aさんは自宅で母親（75歳）と生活しているが、母親の持病が悪化したため、相談支援専門員との面談を通してAさんの今後の生活に必要なサービスについて検討していくこととなった。

問題117 ダウン症候群にみられる症状として、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 高身長
- 2 片麻痺
- 3 心疾患
- 4 腎障害
- 5 高次脳機能障害

問題118 Aさんは就労継続支援B型事業所での作業の途中、作業工程がわからなくなり手が止まってしまった。このときのAさんへの職員の対応として、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 「まだ休憩には早いですよ。頑張りましょう」
- 2 「作業のマニュアルを確認してください」
- 3 「一緒に確認しましょう」
- 4 「職員がやりますので、休んでいてください」
- 5 「別の作業を手伝ってください」

問題119 Aさんが自宅で継続して母親と生活する場合、Aさんが利用するサービスとして、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 居宅介護
- 2 施設入所支援
- 3 自立生活援助
- 4 共同生活援助
- 5 同行援護

次の事例を読んで、**問題120**から**問題122**を答えなさい。

【事例】

Aさん（85歳、女性、要介護4）は、定年退職後は家庭菜園を楽しみとして生活していた。しかし、60代で高血圧症、変形性膝関節症、パーキンソン病を発症し、生活において介助が必要となり在宅生活を続けることが難しくなったため、5年前に介護老人福祉施設へ入所した。

最近、Aさんは、足や腰の痛みを訴えるようになり、居室で過ごすことが増えてきている。Aさんは車いすを使用し、自走で移動している。座位は保つことはできるが、傾きがある。また、手先を「以前のように器用に動かすことができなくなってきた」と話している。

問題120 高血圧症の食生活において、摂取を控えるとよい栄養素として最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 カルシウム
- 2 ナトリウム
- 3 カリウム
- 4 食物繊維
- 5 マグネシウム

問題121 パーキンソン病の特徴として、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 運動時の振戦
- 2 間欠性跛行
- 3 朝の手足のこわばり
- 4 小刻み歩行
- 5 ふらつき歩行

問題122 Aさんの施設生活での役割に繋がる短期目標として、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 座位の傾きを改善する。
- 2 足の痛みを軽減する。
- 3 杖で歩行できるようにリハビリテーションを行う。
- 4 在宅復帰を目指す。
- 5 居室から出て、施設の庭にある花の手入れを行う。

次の事例を読んで、**問題123**から**問題125**を答えなさい。

【事例】

Eさん（72歳、女性）は10年前に筋委縮性側索硬化症（amyotrophic lateral sclerosis：ALS）を発症して、現在、介護老人福祉施設に入所している。入所前は車いすで移動していたが、最近は筋力が低下し、自分で操作することが難しい。

問題123 筋委縮性側索硬化症（amyotrophic lateral sclerosis：ALS）に関する記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 ドーパミンの減少がみられる。
- 2 小脳および脳幹から脊髄にかけての神経の変性がみられる。
- 3 脊髄損傷が原因でおこる。
- 4 脳にβたんぱくの蓄積がみられる。
- 5 運動ニューロンの変性がみられる。

問題124 Eさんに今後現れる可能性がある症状として、最も適切なものを1つ答えなさい。

- 1 免疫機能の低下が現れる。
- 2 食事中のむせ込みや誤嚥性肺炎を発症しやすい。
- 3 呼吸機能は比較的保たれるが、心臓機能が低下する。
- 4 尿意・便意を感じなくなるので、失禁が増える。
- 5 認知機能の低下により、記憶障害が現れる。

問題125 病気が進行し、より医療的な支援が必要になったときの介護上の留意点について、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 筋力低下に伴い意思疎通が難しくなるため、意思伝達装置等で意思を伝える手段を確保しておく必要がある。
- 2 外出すると、呼吸困難時に対応することが難しいので、外出を控える。
- 3 人工呼吸器の使用はEさんの尊厳を守ることに繋がらない。
- 4 胃の機能は低下していない場合が多く栄養状態には問題がないので、褥瘡の心配はない。
- 5 口腔内は障害されないので、最期まで経口摂取を勧める。